

認知症の人の家族等への支援について

東京都町田市いきいき生活部高齢者支援課
医療・介護連携/認知症施策担当

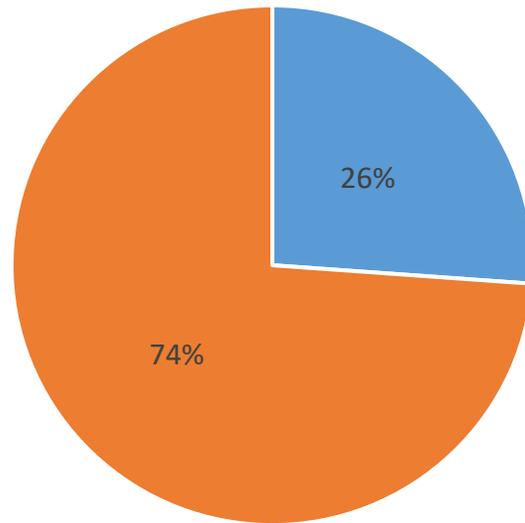
アンケート&ヒアリング結果

■実施期間：7月1日～8月15日

■総回答件数：88件

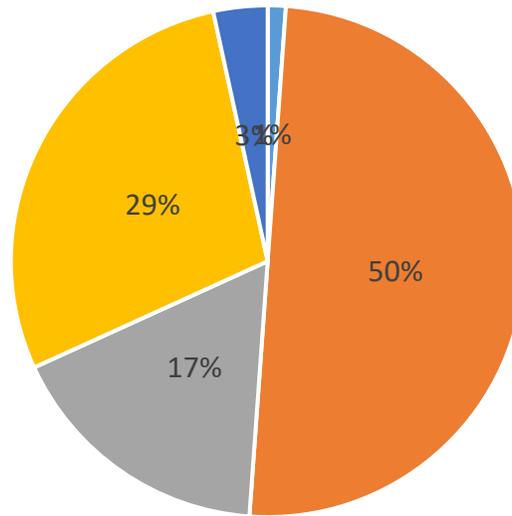
■回答者(家族介護者)属性

性別



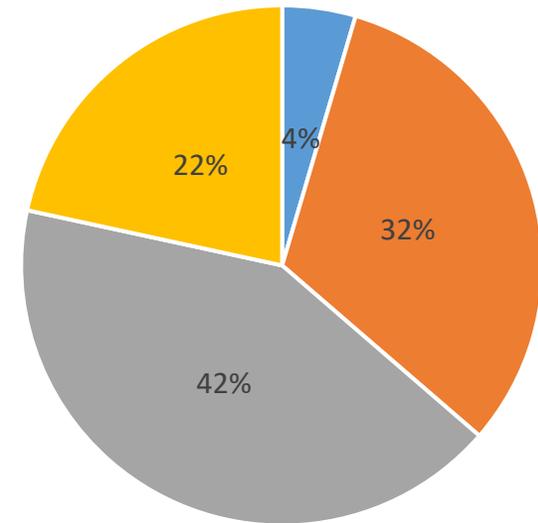
■ 男性 ■ 女性

年齢



■ 19～39 ■ 40～64 ■ 65～74 ■ 75～89 ■ 90～

介護歴

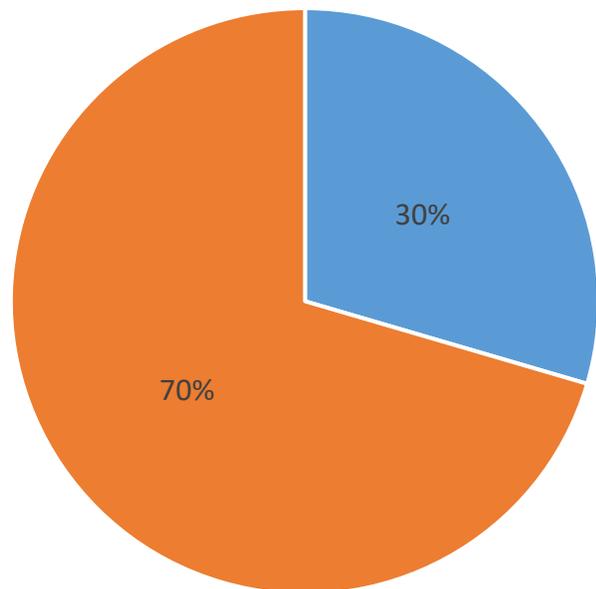


■ 1年未満 ■ 1年以上～3年未満
■ 3年以上～10年未満 ■ 10年以上

アンケート&ヒアリング結果

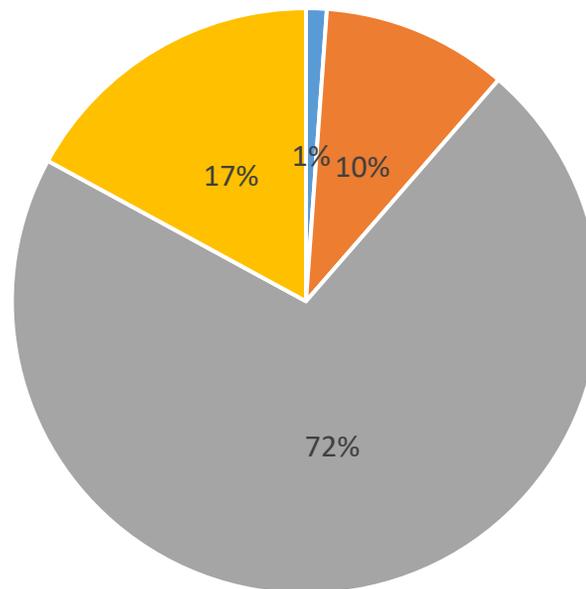
■認知症の人の属性

性別



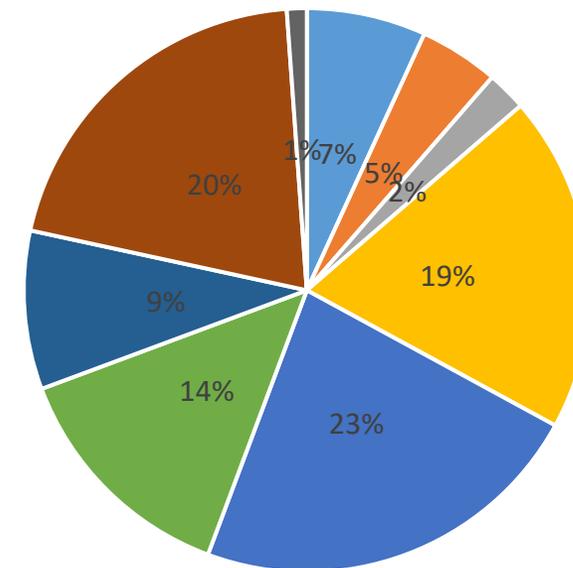
■ 男性 ■ 女性

年齢



■ 40～64 ■ 65～74 ■ 75～89 ■ 90～

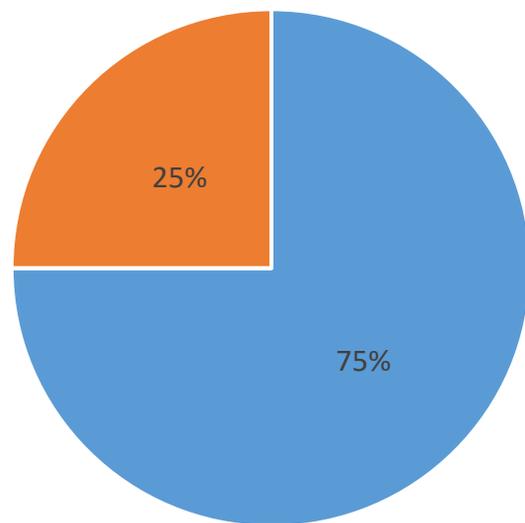
介護度



■ 未申請 ■ 要支援1 ■ 要支援2
■ 要介護1 ■ 要介護2 ■ 要介護3
■ 要介護4 ■ 要介護5 ■ 要介護2⇒5

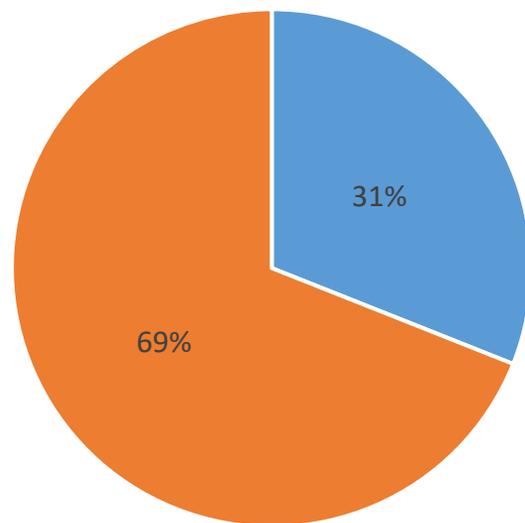
アンケート結果【Dカフェ】

Dカフェを知っているか



■ 知っている ■ 知らない

Dカフェに参加したことがあるか



■ 参加したことがある ■ 参加したことがない

〈どこでDカフェを知ったか〉

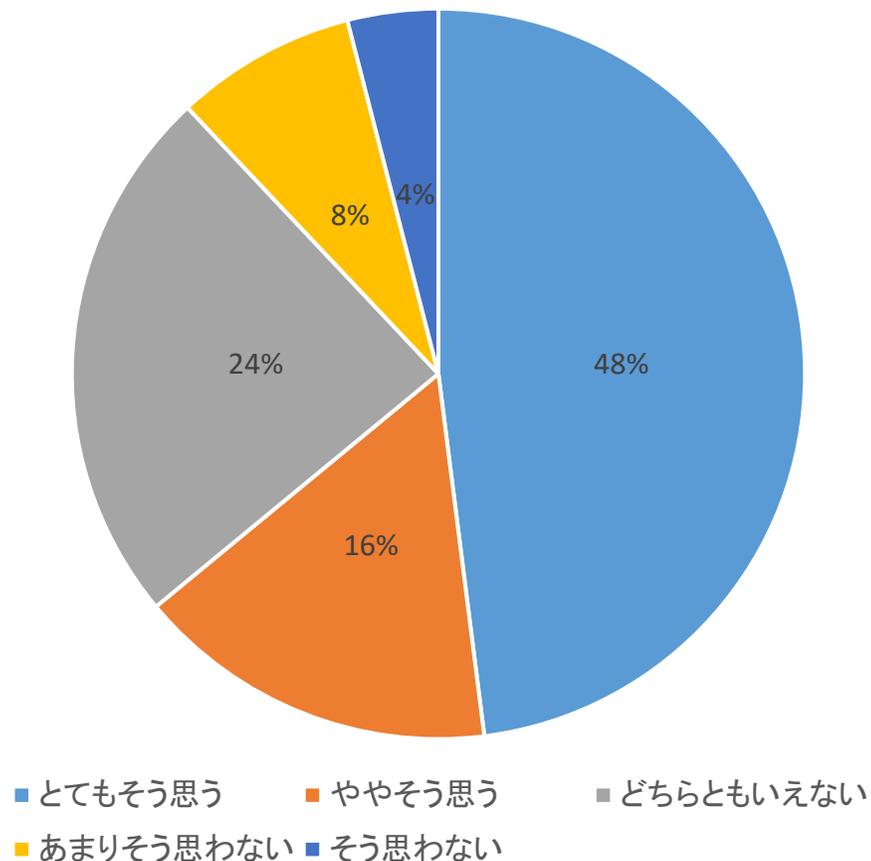
- ・ 高齢者支援センターからの紹介
- ・ 広報まちだ
- ・ チラシ
- ・ その他
(ケアマネジャー、友人知人からの紹介等)

〈認知症カフェに参加した目的〉

- ・ 介護について情報が欲しい
- ・ 介護について相談したい
- ・ 悩みを共有したい、同じような人と関わりたい

アンケート結果【Dカフェ】

参加していい影響があったか



〈とてもそう思う・ややそう思う〉

- ・介護の経験を聞くことが出来たので、勉強になった。
- ・気持ちが楽になった、共感できた。
- ・悩みを一人で抱えていたので、安心できた。

〈どちらともいえない〉

- ・初めての人と会ういい機会だが、深い話は出来ない。
- ・歌やゲームはやりたくない、役に立つことがない。

〈あまりそう思わない・そう思わない〉

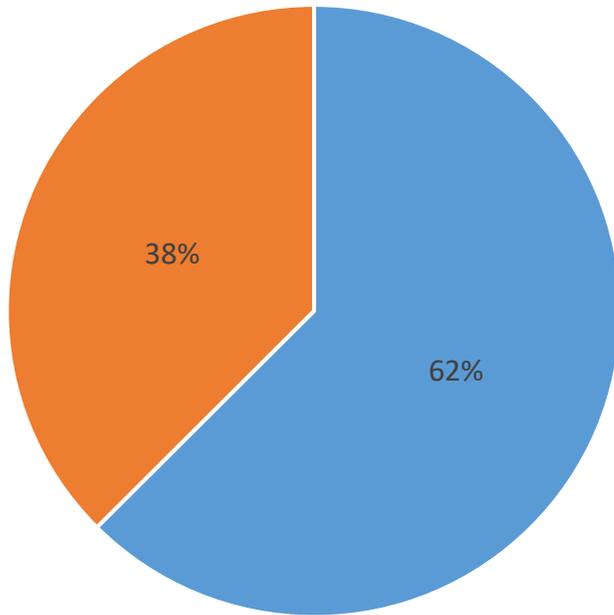
- ・自分が欲している情報を得ることが出来なかった。
- ・悩みが解決しなかった。
- ・認知症当事者と一緒という運営方法だったので、介護者の悩みが話しにくかった。

ヒアリング結果【Dカフェ】

- どんなことをしているのかわからないので参加していない
- 同じ立場の人がいれば参加したいと思うが、忙しく時間がないので、参加できない
- 気晴らしのように他の介護者とつながりが出来たのは良かったが、聞きたいことが聞けなかった
- 家族が気持ちを吐き出すには、当事者や一般の人がいない家族だけの会が必要(一方で本人を自宅に置いておくことはできない)
- ネットで情報を調べることが出来、同じ境遇の友人ともネットで繋がっているため、必要性を感じない

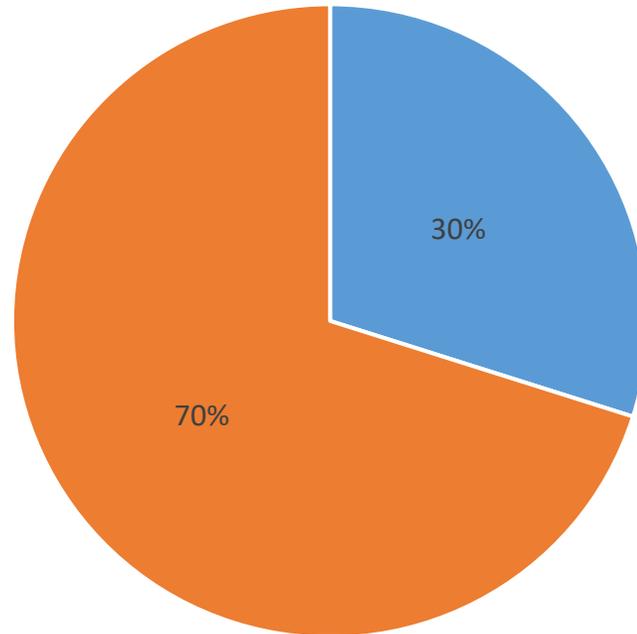
アンケート結果【家族介護者対象の教室】

家族介護者対象の教室
を知っているか



■ 知っている ■ 知らない

家族介護者対象の教室に
参加したことがあるか



■ 参加したことがある ■ 参加したことがない

〈どこで教室を知ったか〉

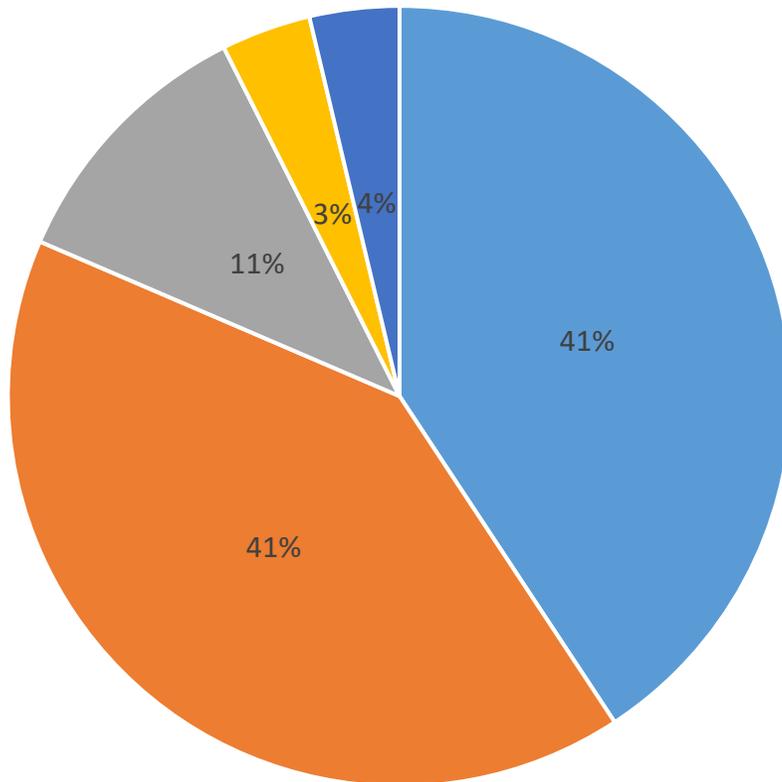
- ・ 高齢者支援センターからの紹介
- ・ 広報まちだ
- ・ 認知症ケアパス
- ・ その他
(ケアマネジャーからの紹介等)

〈教室に参加した目的〉

- ・ 介護の知識や情報を知りたかった
- ・ 社会とのつながりを持ちたい
- ・ 話を聞いてほしい

アンケート結果【家族介護者対象の教室】

参加していい影響がありましたか



- とてもそう思う
- ややそう思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- そう思わない

〈とてもそう思う・ややそう思う〉

- ・ 情報が得られ、勉強になった。
- ・ 孤立感がなくなった、仲間が出来た。
- ・ 悩みを一人で抱えていたので、安心できた。
- ・ 高齢者の気持ちが理解できるようになった。
- ・ 日時が合わない。土日は介護で忙しいので、平日の夜遅くに実施してほしい。

〈どちらともいえない〉

- ・ 参加者が自分だけだった。

〈あまりそう思わない・そう思わない〉

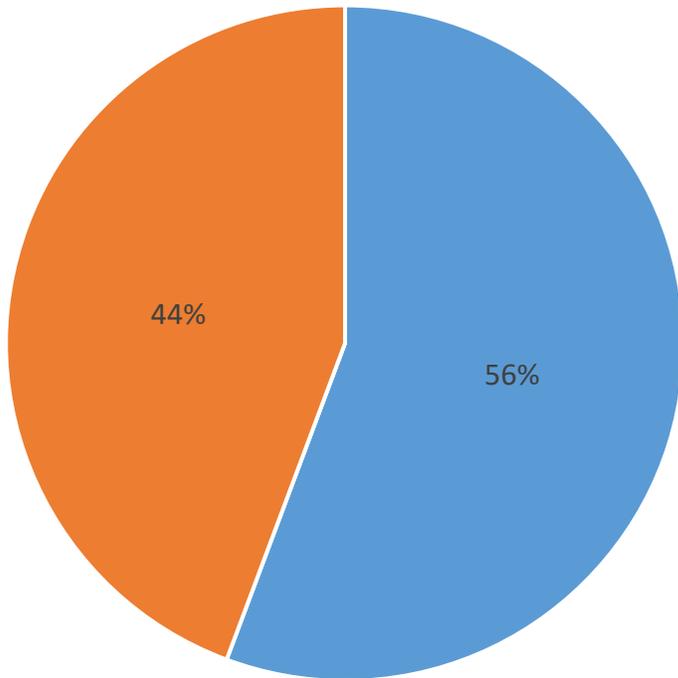
- ・ 介護者の属性や、介護内容が千差万別だった。
- ・ 参加者が自分だけで、話しづらかった。

ヒアリング結果【家族介護者対象の教室】

- 自分が困っている内容について教室が開催されていれば参加したい
- 子世代は忙しいので、どんなサービスが受けられるかわからない。サービスを知っていて、選択できるかで生活の質が変わる。
- 介護者の精神的なケアは必要
- 介護の知識(介護保険制度や介護技術等)について、学ぶことが出来る場が常に用意されていることが大切

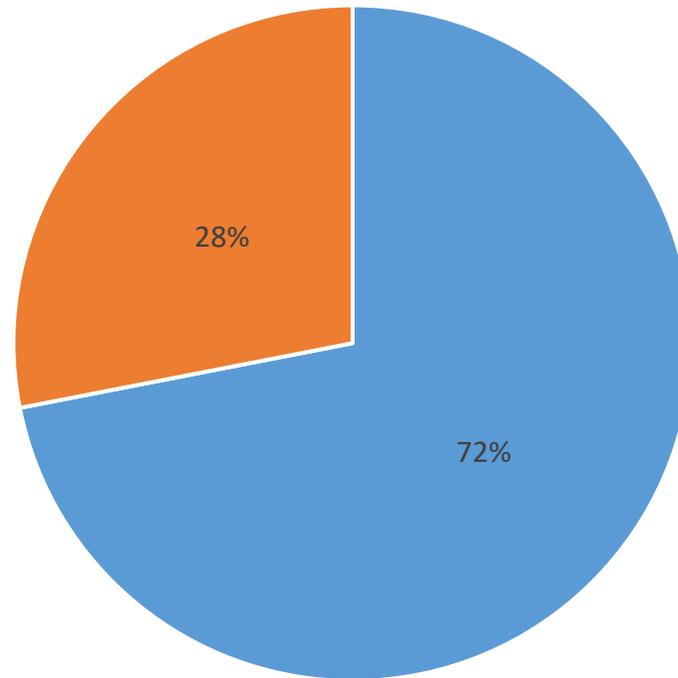
アンケート結果【家族介護者同士の交流会】

家族介護者同士の交流会
を知っていますか



■ 知っている ■ 知らない

家族介護者同士の交流会
に参加したことがあるか



■ 参加したことがある ■ 参加したことがない

〈どこで教室を知ったか〉

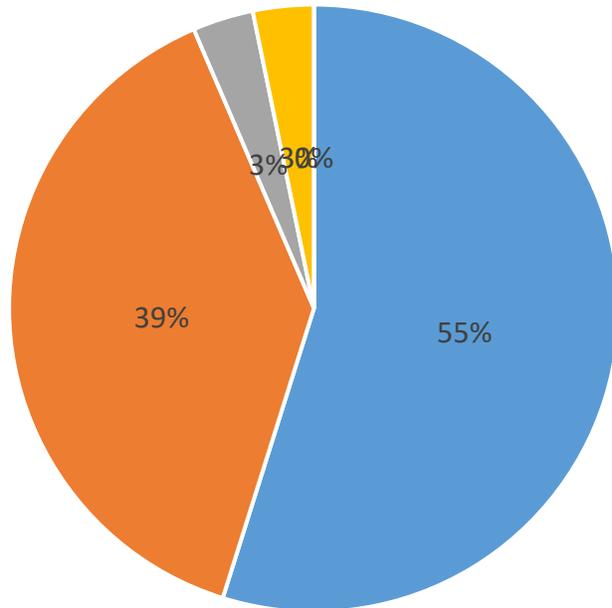
- ・ 高齢者支援センターからの紹介
- ・ 広報まちだ
- ・ 認知症ケアパス
- ・ その他
(知人、友人、デイサービスからの紹介、チラシ、等)

〈教室に参加した目的〉

- ・ 介護方法を相談したかったから
- ・ 情報収集
- ・ 悩みを共有したい、つながり作り

アンケート結果【家族介護者同士の交流会】

参加して良い影響はありましたか？



- とてもそう思う
- ややそう思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- そう思わない

〈とてもそう思う・ややそう思う〉

- ・ 同じ悩みを抱える人から情報を得ることが出来た
- ・ 孤立感がやわらいだ、共感できた
- ・ 参加者の状況が様々で良くも悪くもある
- ・ 参加者が毎回違い、内容に進展がない。ただの愚痴りあいになってしまう。

〈どちらともいえない〉

- ・ 同じような状況の介護者がいなかった

〈あまりそう思わない・そう思わない〉

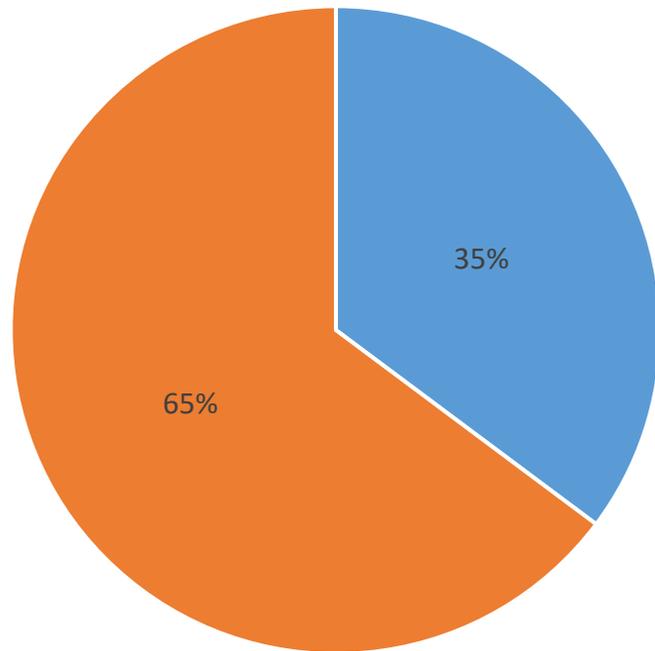
- ・ 未記入

ヒアリング結果【家族介護者同士の交流会】

- 交流会をやっていること自体知らなかった
- 本人と参加でき、本人と別の場所で話せると良い
- 忙しいなか、時間を割いて参加することが出来ない
- 似たような年代、同じ境遇の人集まると話しやすい。集まる場は必要。

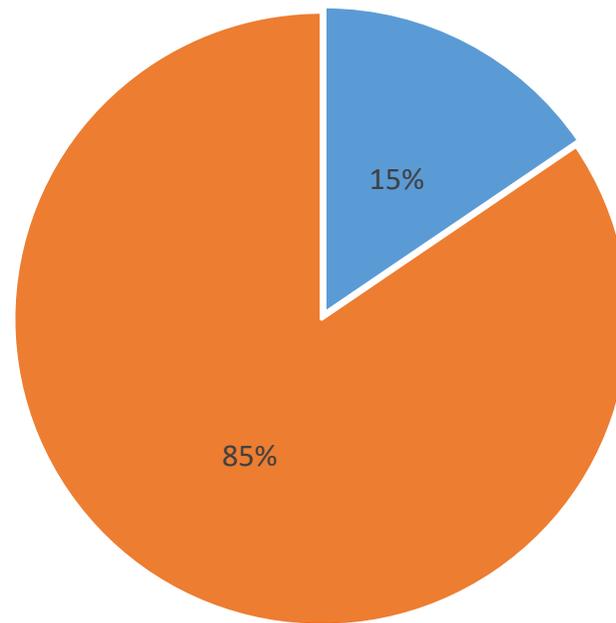
アンケート結果【臨床心理士相談】

臨床心理士相談を知っていますか



■ 知っている ■ 知らない ■ ■

臨床心理士相談を利用したことがあるか



■ 利用したことがある ■ 利用したことがない

〈どこで教室を知ったか〉

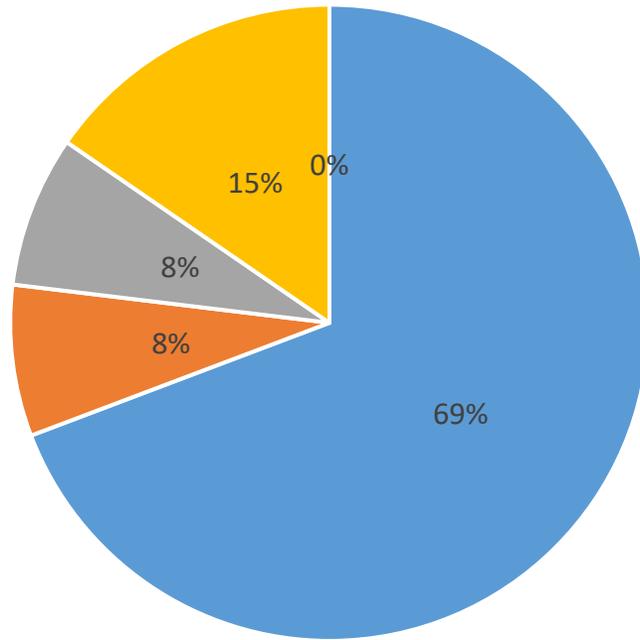
- ・ 高齢者支援センターからの紹介
- ・ その他
(ケアマネ等の紹介、チラシ等)

〈心理士相談を利用した目的〉

- ・ 介護方法やストレスへの対処法を専門家に相談したい。
- ・ 気持ちを聞いてほしい

アンケート結果【臨床心理士相談】

利用したことで良い影響はありましたか？



- とても思う
- やや思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- そう思わない

〈とても思う・やや思う〉

- ・ 専門家としての見立てを教えてもらったことが良かった
- ・ 相性が合わなかった。表面的な受け答えに感じた。

〈どちらともいえない〉

- ・ 心理士は専門的な勉強をした方だとは感じたが、介護経験はなく、何かをつかめた感じはしなかった。

〈あまりそう思わない・そう思わない〉

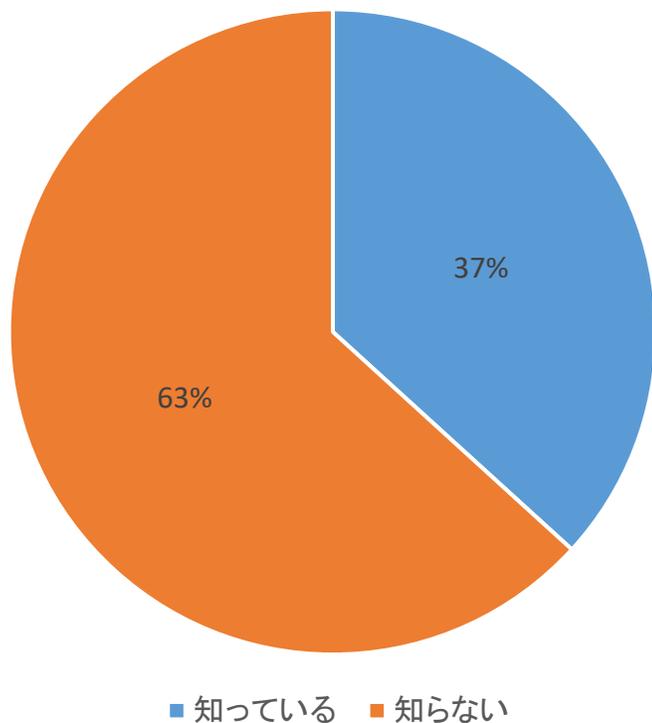
- ・ 勧められた対応が現実的には出来ないものだと感じた。
(暴力をふるう夫を警察に通報する)

ヒアリング結果【臨床心理士相談】

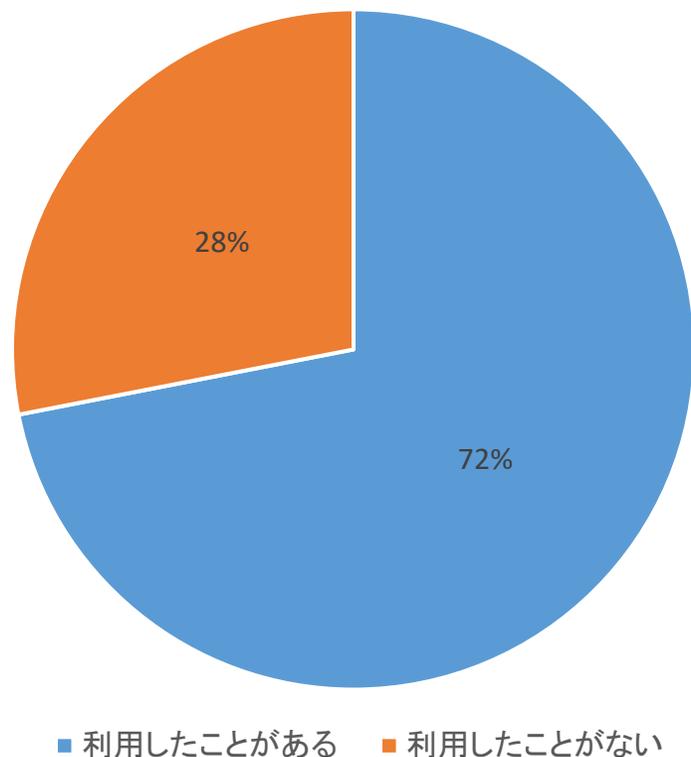
- 臨床心理士がどんなことを相談できる人なのかわからない。
- 自分が相談を受けるレベルなのか躊躇してしまう。勧められれば受ける。
- 自分では困っていないと思っていたが、相談を受けて涙が出ることもあり、自分が悩んでいたことに気づけた。自分からは受けようと思わないので、セッティングしてほしい。
- あまり事業として知られていないイメージ。
- 日程が合わなかったり、事前予約制なのが使いづらい

アンケート結果【電話相談】

認知症に関する電話相談を知っていますか



電話相談を利用したことがあるか



〈どこで電話相談を知ったか〉

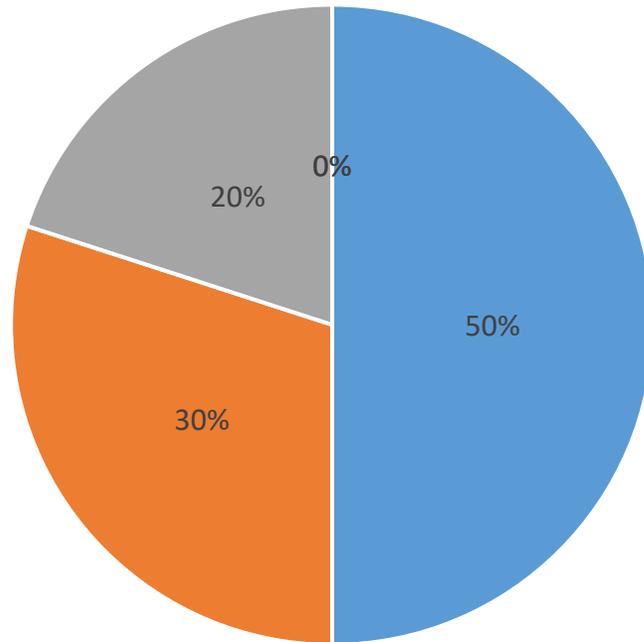
- ・ 高齢者支援センターからの紹介
- ・ 知って安心認知症(認知症ケアパス)
- ・ その他
(テレビ、チラシ、回覧板、病院での紹介等)

〈電話相談を利用した目的〉

- ・ 悩みを相談したかった
- ・ どういうものか知りたかった
- ・ 施設をみつける
- ・ どう対応したらいいかわからず、追い詰められたとき

アンケート結果【電話相談】

利用して良い影響はありましたか



- とてもそう思う
- ややそう思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- そう思わない

〈とてもそう思う・ややそう思う〉

- ・ 機械的ではなく寄り添って聞いてくれた。
- ・ 教えてもらったことが時間の経過の中で徐々に実践できるようになった。

〈どちらともいえない〉

- ・ おおざっぱな感じ。上から目線な言葉遣い。

ヒアリング結果【電話相談】

- 対応方法などは、わざわざ電話かけて聞かない。その場で適当にやり過ごす。
- 本人を連れていくのは難しいので気軽に相談できるのは良い
- 聞いてくれるだけで安心感があった。
- 困った時の入り口の相談先としては良い
- 家族会の電話相談は、家族の気持ちを傾聴するような時間のかかるものにも対応している

アンケート結果【その他のサービス】

《取り組みの名称》

- つまの会
- 入所施設や通所施設での家族介護者交流会
- 地区社協で取り組んでいる送迎
- ほっとくつろぎカフェ(まちの保健室、認知症カフェ)
- 認知症友の会

《取り組みに参加した理由》

介護方法などの情報を知りたかった

アンケート【困っていること、必要な支援】

- ①相談先・集いの場が欲しい
- ②サービスの提供体制
- ③周辺症状への対応
- ④外出支援・生活支援
- ⑤専門職の質の向上
- ⑥金銭的支援
- ⑦その他

アンケート【困っていること、必要な支援】

①相談先・集いの場が欲しい

- 大変さを知ってほしい、気持ちの理解
- 自治体独自のサービスやこれからどうなるか教えてほしい
- 気軽に集まれる場所が欲しい
- 話し相手を求めているが機会がない
- 社会からの孤立感
- 相談先がわからない
- カフェは時間が合わないこともある。直接会わなくても相談できる場所が必要。

アンケート【困っていること、必要な支援】

②サービスの提供体制

- 施設・サービスがない(デイ・SS)、待機期間が長い、預かり時間が短い
- 生活や仕事を継続したい(デイの送り迎えで仕事が継続できなかった、本人から職場に電話が入る)
- 対応困難な利用者は施設を追い出されてしまう
- 介護者の体調が悪くなった時など、急な依頼でもサービスを提供してほしい(デイやSSなど)
- 自由になる時間が欲しい。

アンケート【困っていること、必要な支援】

③周辺症状への対応

- 同じことを何度も聞かれ、疲れる
- 物をなくしたり常に見守りが必要
- 徘徊
- 言うことを聞かない、病院や施設に行きたがらない

アンケート【困っていること、必要な支援】

④外出支援・生活支援

- 食事の手伝い、ゴミ出し、買い物等の生活支援
- 入院・通院のサポート、送り迎え
- 車いすの外出支援

アンケート【困っていること、必要な支援】

⑤ 専門職の質の向上

- ケアマネ、スタッフ、医師等専門職の質に差がある
- 配慮のない言葉遣い
- 進行しているように見えても、検査では現状維持といわれる

アンケート【困っていること、必要な支援】

⑥金銭的支援

- 無料のサービス、補助があると良い(GPSなど)
- 金銭的に厳しく施設に入れられない

アンケート【困っていること、必要な支援】

⑦その他

- 夜中のおむつ替え
- DAYS!BLGのようなお世話されるだけではないデイが増えると良い
- 周囲の理解

等々 . . .

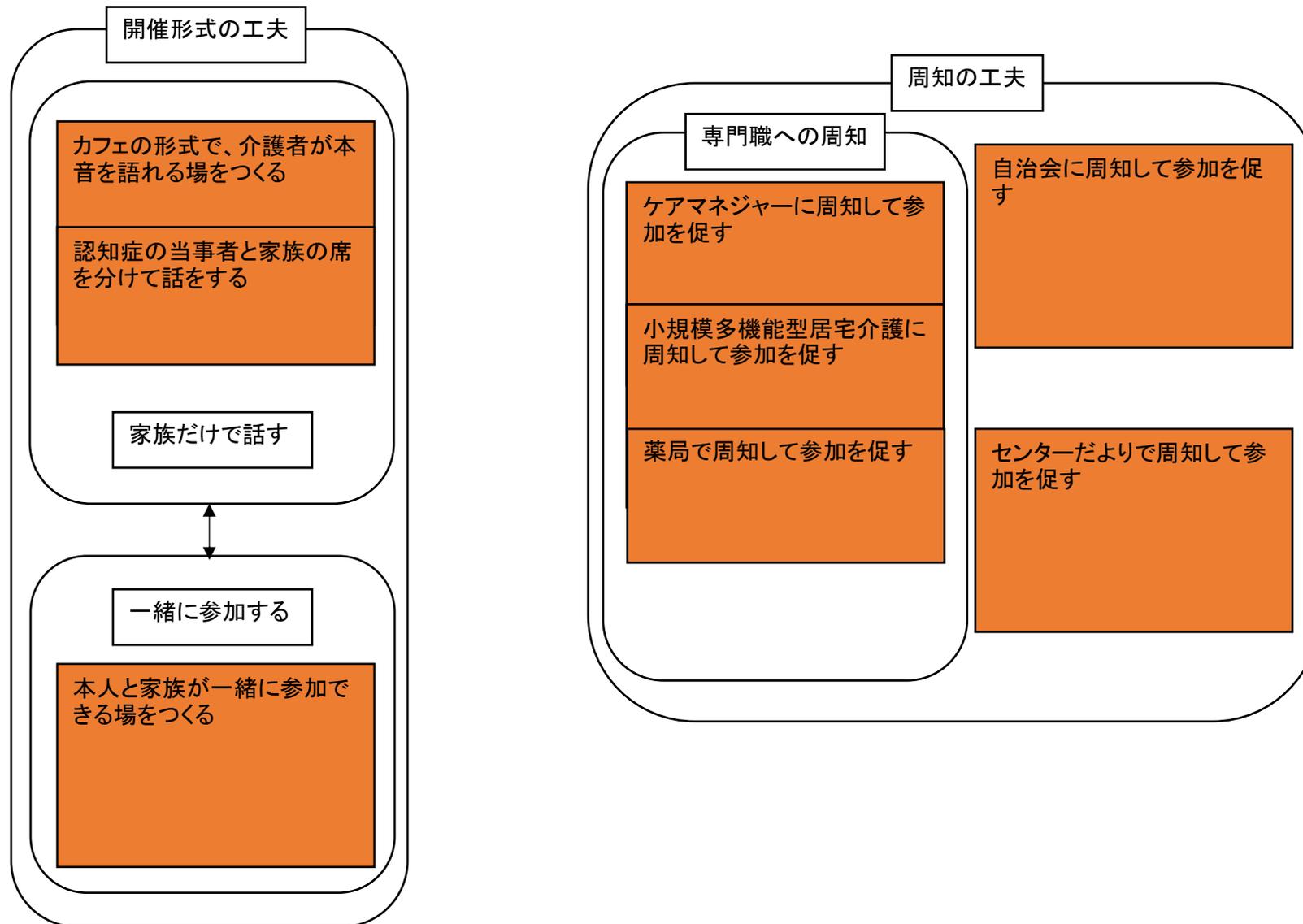
ヒアリング【困っていること、必要な支援】

- 本人が認知症を認めていないため、サービス(施設やデイ等)の導入や増回が難しかった。一息つける場が欲しい。働き続けられる仕組みが必要
- 仕事と介護の両立という点において、お迎えの時間を融通してくれるDSかどうかなど、事業所によって対応が異なる
- 受診の付き添いまでやってくれる送迎サービスが欲しい
- デイの送り出しを手伝ってほしい
- 土日はデイやSSが休みで介護者も悶々とするときがある。そのため、土日に相談できる窓口があると良い。
- 専門家に話を伺う機会や介護の技術を学べる場があると良い
- 若年性認知症の人が利用できる介護保険サービスがないこと

ヒアリング【困っている事、必要な支援】

- サービスを案内してもらえず、おむつの支給を要介護4になるまで知らなかった。オムツの補助以外にも金銭的な補助は家族の余裕に繋がるので、漏れなく知れるような仕組みにしてほしい。
- いろんなサービスをホームページで調べたが、課をまたいでいたり難しい。認知症の相談はここ！というようにまとめてほしい。
- 必要にならないと知りたいたいと思わないものだが、介護保険は本当に複雑。調べてもわからない。
- 認知症の人が「支援が必要だ」と表出できるような、ヘルプマークのようなものがあると良い
- 男性介護者や独居男性が自立できる家事の支援が必要。
- 若い人と高齢者で使えるツールは違う。

認知症地域支援推進員との検討【Dカフェ】



認知症地域支援推進員との検討 【家族介護者教室・交流会】

周知の工夫

市の広報で周知し参加を促す

専門職への周知

ケアマネジャー連絡会で周知し参加を促す

ケアマネジャーに周知する

デイサービスで周知する

開催方法の工夫

若い介護者向けにオンラインでの会を開催する

市で統一した日時・場所を設定し、参加しやすくする

圏域合同で持ち回りの開催とする

土曜日など行きやすい曜日での定例開催とする

ご家族が必要だと思った時に参加できる体制にする

開催内容の工夫

介護のアドバイザーを配置する

介護ストレスの軽減に効果のあるプログラムにする

高齢の介護者向けに情報提供や話し合いの機会を作る

具体的なテーマを設定して開催する

認知症地域支援推進員との検討 【心理士相談・電話相談】

周知の工夫

【臨床心理士相談】
臨床心理士相談をカウンセリングと勘違いしている人もいる。

開催方法の工夫

【鶴川サナトリウム病院委託】
入口のハードルを下げるために、LINEやメールなどの相談方法もあると良い。

【認知症町田ほっとダイヤル】
開催が月曜のみと限られているので、相談日が増えるとより案内しやすい

【臨床心理士相談】
課題整理が必要な方が利用しているが、原則3回までの利用のため、終結しないことがある。

今後の取組

【2024年度】

広報物の作成(チラシ、パンフレット等)

《掲載内容(予定)》

- ①家族介護者が利用できる市の事業一覧
- ②相談先一覧

掲載内容については、認知症地域支援推進員に相談していく。

【2025年度】

認知症地域支援推進員とともに、アンケート結果をもとに検討